

# 香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会こども教育課（放課後児童健全育成事業）  
公立香住病院内 病児保育室「おひさま」（病児保育事業）

## 放課後児童健全育成事業・病児保育事業

女性の社会進出や就労形態の変化などにより、保育ニーズはますます多様化しています。潜在的な保育ニーズを把握し、教育・保育、子育て支援の提供体制を確保する「量的拡充」が求められる中、本町では、保育所による保育体制の確保のほか、放課後児童健全育成事業など、事業の拡充を図っています。

### 放課後児童健全育成事業



▲スマイルかすみの様子

本町では就労などにより家庭に保護者のいない小学生などを放課後や長期休業日に預かる「放課後児童クラブ」を設置しています。平成30年度には既存の7小学校区に加え、奥佐津、佐津、余部小学校区で新規開設するとともに、受け入れの対象を幼稚園児まで拡充しました。

これにより、町内10小学校区全てに放課後児童クラブを設置・運営することとなり、香住小学校区、村岡小学校区の2クラブでは小学生を、他の8クラブでは小学生と幼稚園児をお預かりし、児童・園児の健全育成と子育て家庭の就労支援を行っています。

なお、香住幼稚園と村岡幼稚園の園児については、希望により教育時間終了後（14時以降）も、両園において園児をお預かりする幼稚園の一時預かり事業を継続し、就労支援を行っています。

### 病児保育事業

病気のため、保育所などに通園するのが難しいお子さんを一時的に預かる病児保育室「おひさま」（定員2人）を、平成30年7月、公立香住病院内に開設しました。保育室と、児童の静養、隔離の機能を持つ観察室を設けています。

現在は、未就学児（1歳以上）を対象として、医師の診断のもとお預かりし、子育て環境の充実を図っています。



▲病児保育室「おひさま」の観察室